



郷土歴史資料館 だより



「古墳見学会」を開催します

横山古墳群最大の神奈備山古墳やその周辺に所在する多くの古墳を巡る、古墳見学会を開催します。

見どころなどの解説を聞きながら、見学していただきます。

と き 3月12日(日) 13時～16時(雨天中止)

と ころ 元高嶋技研株式会社工場敷地 集合
(瓜生29の2) 県道272号(旧国道8号)線沿い

見学先 横山古墳群坪江支群(神奈備山古墳と周辺の古墳)

講 師 橋本 幸久(当館館長補佐)

参加費 無料

定 員 20人(事前申し込み)

持ち物 動きやすい服装・履物、帽子、手袋、雨具

申し込み 2月18日(土)から開始。

記載の問い合わせ先に電話またはFAX、メールでお申し込みください。



▶ 神奈備山古墳説明板・史跡標柱

郷土歴史資料館(金津本陣 IKOSSA 2階)
休館日 月曜日・第4木曜日(祝日の場合はその翌日)

開館時間 9時30分～18時(最終入館17時30分)
問合せ ☎ 73-5158 FAX 73-1038 ✉ maibun@city.awara.lg.jp

第3回ふるさと講座 「史料からみる溝江長氏の人物像」

越前国を治めた戦国大名朝倉氏の滅亡後、その一族や旧臣など越前の武将が所領を失う中で、朝倉氏の家臣だった溝江長氏は、豊臣期まで本拠地である金津を治め続けました。このように、しぶとく戦国の世を生き抜いた長氏の人物像などを、史料から読み解きます。

と き 3月19日(日) 13時30分～

と ころ 金津本陣 IKOSSA 3階 大ホール

講 師 角 衣利奈(当館文化財専門調査員)

参加費 無料

定 員 30人(事前申し込み)

申し込み 2月18日(土)から開始。
記載の問い合わせ先に電話またはFAX、メールでお申し込みください。

▶ 伝・溝江長氏公の甲冑
【朱銀振分塗伊予札二枚胴具足(市指定文化財)】



男女共同参画推進市民会議の取り組み

男女共同参画推進市民会議は、男女共同参画を推進するために活動している市民団体です。この会議では、市内の企業を訪問して、職場での男女共同参画の状況を把握し、各企業の特徴ある取り組みを皆さんに紹介しています。

今回は「社会福祉法人緑進会特別養護老人ホーム芦原メロン苑」を訪問し、職員の皆さんに、家庭での育児や家事の分担、仕事との両立などについて、お話を伺いました!

今回の訪問企業

社会福祉法人緑進会 特別養護老人ホーム芦原メロン苑

【企業紹介】

緑進会では、特別養護老人ホームや地域密着型特別養護老人ホーム、ショートステイ、デイサービス、ケアプランセンターを運営しています。

【企業の取り組み】

幅広い年齢層の職員が在籍している中で、産休や育休を取得しやすくしたり、時短勤務もできるようにするなど、仕事と家庭の両立に取り組みやすい環境づくりに努めています。

地域の皆さんの介護はもちろんのこと、職員の家族の介護相談に乗るなど、職員が働きやすいようにメンタルヘルスに力を入れています。



女性職員Aさん

夫の帰宅が早いときは、夫が子どもをお風呂に入れたり、ご飯を食べさせたり、寝かしつけをしてくれます。また、母と同居しており、私は食事の後片付けや洗濯を担当し、3人で効率よく家事の分担ができています。学校行事があるときは、休暇を取って、積極的に参加することができるので、仕事と家庭を両立しやすく、とても助かっています。仕事中は、事務所にいることが多いですが、男女比が半々で年齢が近い人も多いため、周りの人に仕事や子育てなどの相談がしやすく、働きやすい環境です。

男性職員Bさん

家事の中では、洗濯やお風呂掃除、ゴミ捨てなどを主に担当しています。ご飯は妻が作ってくれて、その間に自分は、子どもの宿題を見ています。学校行事があるときは、休みを取って積極的に参加しています。特に授業参観では、普段気付かない子どもの成長を見ることができ、とても嬉しいです。職場では、男女平等に仕事の割り振りがあるので、居心地も非常に良いです。男性が家事をすることは、普通のことだと考えています。特に福井県は、共働きの夫婦が多いので、夫婦で協力し合っていくことは、大切だと思います。



企業訪問を終えて

芦原メロン苑の職員の皆さんは、普段からご家族間で協力して家事や育児に取り組んでおり、改めて協力し合うことの大切さを感じました。また、家事を分担し、できる人が対応するというのも素晴らしいです。今後も、男女平等の観点から、各企業が取り組んでいる素晴らしい事例を紹介していきたいと思います。(男女共同参画推進市民会議委員)

消費者センターだより

中古車の購入 ～トラブルを防ぐためのポイント～

就職や転職を機に、自動車を購入する人もいないのでしょうか。中古車の購入を考える場合は、新車とは異なり、一台一台の状態が違いますので、特に確認が必要です。「買ってすぐに故障した」「修復歴のある車だったことが分かった」「販売店では気付かなかった傷やへこみがあった」など、購入後に思わぬトラブルが発生することがあります。

【トラブルを防ぐためのポイント】

- 信頼できる販売店で購入する。
- 購入する車を実際に確認する。できれば試乗する。
内装の汚れやにおい、エンジンの調子など、画像だけでは分からない所も確認する。
- コンディションノート(不具合箇所など車の状態を示した書面)で修復歴や要整備箇所を確認する。
- 保証の有無とその範囲を確認する。不明な点があれば十分な説明を求める。
- 注文書などで契約成立時期、キャンセル料について確認する。
業界団体の標準約款では、現金契約とクレジット契約でそれぞれ契約成立時期を定めていますが、業界団体に加盟していない事業者もありますので、必ず確認する。



自動車の不具合は、安全に関わる事態につながる可能性がありますので、慎重に選びましょう。

困ったときは一人で抱え込まず、消費者センターへご相談ください。

問合せ あわら市消費者センター ☎ 73-8017

✉ seikatsu@city.awara.lg.jp

消費者ホットライン ☎ 188(局番なし)

「泣き寝入りは、いやや(188)!!」で覚えてね!



消費者庁 消費者ホットライン188
イメージキャラクター
「イヤヤン」

2024年春開業予定! あわらに新幹線がやってくる!

全国の記念切符などを寄付していただきました!



▲ 全国の記念切符を手にする
宮下さん(右)と森市長(左)

▶ 保存状態もよく、大変貴重な品をいただきました。



1月17日(火)に市内在住の宮下康彦さんから、全国の記念切符など約1,000枚を寄付していただきました。この切符は、約20年前に元国鉄職員の友人から譲り受けたもので、1970～1980年代に発行されたものが中心です。来年春の北陸新幹線県内延伸に向けて、あわら市を盛り上げたいとの思いで寄付を決めたそうです。

宮下さんは「切符には興味がなかったが、譲り受けたものなので、大切に保管してきた。当時の地域の状況や鉄道の歴史を知ることができる大変貴重なもの。北陸新幹線の延伸が迫っているので、少しでも有効に使ってもらえれば幸せ」と思いを語ってくれました。これらは、賑わい施設「アフレア」などでの展示を予定しています。